

神戸のアーバンデザイン 街とモニュメント

水谷頼介+チーム・UR

65



▲官庁にかこまれた教会（下山手栄光教会）



▼環境変化の中、新しい価値を付加（生田神社）

お寺や神社が村や町のシンボルであり、モニュメントでした。それは村全体のスカイラインの構成上からも、ひときわ大きな建物や森であり又、精神上宗教上の中心だったからでしょう。西洋のルネッサンスでは町の中心が教会から市庁舎や裁判所、オペラハウスに移って来ましたが、これも建物の大きさや精神的中心だったからでしょう。神戸の場合、緑ゆたかな背山と大きな観光船や貨物船が出入口する港がある為に町全体のモニュメントになる建物は存在しません。しかし、お寺や神社の建物は現在でも街並の中で立派にモニュメントの役割をはたしています。中山寺の回教寺院はカトリック教会とつらなり、この通りが北野小学校にあたり、トアロードとつながり、異国情緒ゆたかな街並を形成しています。又、兵庫県庁や県警本部、県民会館等の官庁の建物にかこまれたレンガ造りの栄光教会は前の大きな楠の木とその下にある再の魁石とともに、又県民オアシスの緑と結ばれてモニュメントとして市民に親しまれています。下山手の通称モダン寺は面白い形のお寺として又お風呂屋さん、飲みやさん、診療所お菓子屋さんなどのある下町の豊かな街並みを形成し、子供達や近くの人達のモニュメントの役割をはたしていると思います。この他生田神社や関帝廟、住吉神社、敏馬神社、長田神社等は、お正月等の祭の時だけでなく、昔とは形の上や精神的な意味は變っていますが、常に自動車交通、大きな建物の建設等による環境の変化の中で常に新しい価値を付け加えながら街の中でのモニュメントを形成していくことでしょう。

〈武田 則明〉

神戸のモダーンリビング 路地

水谷頼介+チム・UR

65

☆新しい住宅地やマンションと長屋を主体とした下町のすまいの環境とは、いろいろな面でたいへん異っていますが、そのなかのひとつに「路地」があります。道路がすっかり自動車のものになってしまい、道は人が話し合い、たたずむ空間ではなくなってしまい、公園や集会所などが十分準備されていない下町では、車の入らない路地だけが、安全に子供が遊び、おかみさんたちが話しこみ、としょりが草花に水をやる唯一の空間なのです。

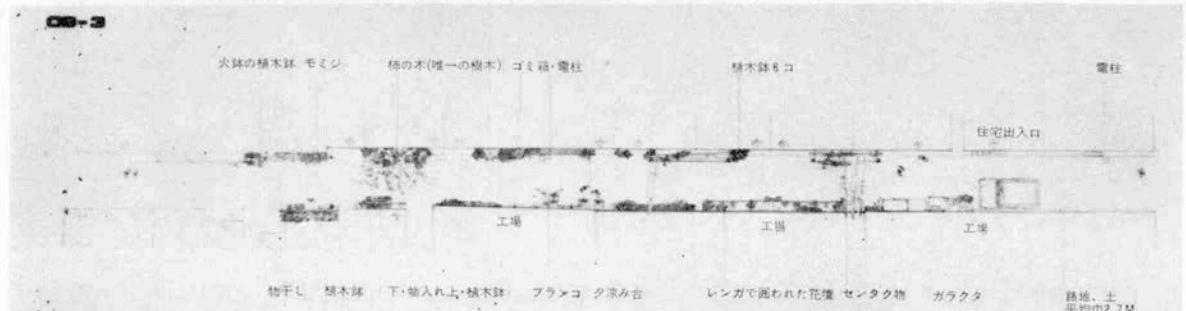
☆そんな路地を、これからのお住まい地、生活環境改善のための再開発といった時にどうやって生かしていくのかという観点で行った長田苅藻地区での調査の一部を紹介しましょう。



☆路地の第一の役割は通路です。それぞれの家への出入口があってその前は特にたくさんの草花によって飾られています。だから路地は同時に庭でもあります。第2は子供の遊び場です。第3に洗濯物の物干し場であり、物置きです。そして第4に、長屋の人達みんなの集会場であり、公園である共通の広場です。そこには、小さな社にまつられたお地蔵さんが路地を見守っています。

☆アパートの廊下や一階の建物まわりの貧しさは、路地のセミパブリック空間としての多重機能空間の豊かさに対して恥じなければなりません。

(小林 郁雄)



神戸遊戯誌107

★楽しいが、危険防止の安全指導も活発

でファンが各種の競技会を開いているが、全国競技会（毎日新聞社・関西模型飛行機クラブ連合会共催）もすでにこととして第二十三回目の競技会を去る五月下旬に大坂の藤井寺球場で百三十余人の参加者を集めて開かれた。だいたいUコン機の値段は二、三千円から二万円までだが、これぐらいの値段なら、中・高校生でも買えるため、全国的に少年ファンの数は多い。全国のファンの数は四万人ぐらいはあると思われるが、兵庫県でも約三千人はいるだろう。それも地方のほうが多い。

次にラジコンだが、性能がよいだけに値段も高く、二万円から最優秀なものは二十五万円もする高級飛行機がある。だが、ファンの数は年々ふえ、現在全国には二万人といわれているが、県下にも千五百人ぐらいはいる。

全日本選手権大会はことし第十五回を迎えて、去る五月二十日、二十一日の両日三重県明野（あけの）飛行場で関西予選が行なわれたが、十月東京で全国決勝戦が行なわれることになっている。ちなみに両方共戦後早々は外

競技種目はUコンよりもラジコンの方がかなり多く、
スタント（曲技）はじめスピード（たとえば、パイロン
レース＝標式を十キロ回る）、スケール・モデル、その他
各種の組み合わせとして、ラット・レース、コンバット、
風船わりなどがある。わが国ではスタントがいちばん盛
んである。ところでオモチャとはいっても機種の大きい
ものもあるし、最高時速三百三十キロ（十CCエンジン）
も出して飛ぶのだからかなり危険である。いつ思いがけ
ない故障や危険な事態が発生してケガをすることがある
かわからない。だからできるだけ人気のない広い場所を
選んでプレイすることが第一条件である。県下でもモ
ト、戸、尼崎、姫路などの都会は好適な広い場所が少ない。



▲ 青野ヶ原で飛ばす藤沢氏
地面には不整地離着陸のため
ビニールシートが敷かれている



▼ 井村正一氏
(長谷川貿易株式会社)



▼ 藤沢清次氏
(フジサワ模型)



模型飛行機② 青木 重雄

そこでファンは場所探しに苦労しているが、県下では三木市、武庫川河原、別府（べふ）、小野市、加古川市方面が多く選ばれている。地域の広さの上に高さも必要である。ラジコンはコンスタントに百メートターから百七十メーター（千メートルぐらいまで電波はとどく）を飛び、Uコントローラー（十五メートターの高さを飛ぶ）。

こうした安全性を徹底するために安全委員会（兵庫県ラジオコントロール模型安全飛行推進委員会）が警察指導のもとに結成され、活動しているが、同会では会員に会員登録証を渡して模型飛行を行なうための責任と権利の所在を明らかにしている。現在四百十人からの会員がいるが、この人らは自分のプレイだけでなく、会員外の一般のファンの安全性確保のための実技指導を常に行なっている。だからいうまでもなく我流は絶対危険である。県下の各クラブに届けて所属の指導員から教えるつもりがある。上達法は実地に飛ばすより他に手がないのだから、こうした危険にそなえて対人対物保険（三百万円）がスポーツ保険（住友）の中に設けられていることをつけ加えておきたい。

では、全国的に組織されている会はとなると、日本模型航空連盟 日本無線模型飛行機協会（東京）・関西模型飛行機クラブ連合会（大阪）などで、これらが中心になつて全国的な競技会を開いているわけだが、先にも述べた全日本選手権大会の受賞者第三位までが参加資格を与えられる第十五回コントロールライン世界選手権大会（Uコントローラーで七月十二日から一週間）に山崎与氏（尼崎三器工業、尼崎ANAC会員）が日本から初参加した。この他全米ラジコン機競技会、ヨーロッパラジコン競技会、全米AMA競技会などの国際競技会があるが、全米ラジコンには日本から今までに四回ぐらいい参加しているが、東京都および豊中市在住の二氏が第二十位ぐらいになったことがある。地方大会は各地で催されているが、県下ではまず神戸模型協会（業者クラブ）主催のものが一年回ある。すでに加古川で十回やった

が、ラジコンの十五種目を数種に減らして争うものでいつも神戸市長杯をめざして五十人ぐらいが参加している。その他神戸ラジコンクラブ（月会費千円）はジェームス山で練習や競技会をつづけているし、各地で諸クラブが同様の活動をつづけている。試合内容は近距離だけではなくて遠距離があり、たとえば神戸の多聞台地や須磨展望台からジェームス山までラジコンを飛ばしたことがある。途中二カ所で中継するが、トランシーバーで受け渡しするわけだ。

ファンには年齢では小学生から七十歳の老人まであるが、三十代、四十代が最も多い。女性ファンはさすがに少ない。職業の方は多種で、商店店主、医者、先生、郵便局員、建築士、電機屋、自動車屋などが多いため、神戸の顔ぶれのなかでは、井村正一、藤沢清次両安全委員がベテランとしてとりわけ模型飛行機の普及と後進の指導に活躍している。井村委員は戦争中は海軍機（彩雲）のパイロットをしていた人だし、藤沢委員は同様海軍航海隊の整備員をしていた。共に戦争中の体験が二人を模型飛行機に結びつけたのも興味深い。変わりダネの一人にオバライ（七十七歳）という神戸で貿易商をしている英人がいるが、とても熱心である。さて、この遊びが身につくまでには二年はかかるし、それまでに費用も百万円はかかる。だがプレイはただ楽しいだけではなくからだのためにもよい。全神経を集中すると共にたえずからだを動かすために全身が新陳代謝される。飛行機が地上に降りた瞬間ヤレヤレと思う解放感の味わいもまた格別である。最後にヒコーキの機材だがエクワードから輸入のバルサ材が最も良くて桐の三分の一の軽さである。プラスチックは重い。バルサ、カヤ、ヒノキの上に絹や和紙をはり、アメリカ製の塗料をぬる。プレイするだけでなくてへやに飾っても美術品のように美しいのも模型飛行機の一特色である。

●世界の福祉施設ルポ<17>

レニア・スクール

橋本 明



バックレイのワシントン州立「レニア・スクール」

週火曜日に他のボランティアと共にこのレニア・スクールまで施記見学に出かけていった。

晴れた日には左手にレニア山を望みながらの一時間余りのドライブは快適そのものだし、道中ボランティアの女の子たちのおしゃべりに耳を傾けるのも楽しみの一つであつた。

バックレイという町のはずれに出ると、周囲をぐるつと辯で囲まれたかなり大きな施設があり、正門を入ると広い庭のかなたに星条旗がひとときわ高く掲げられている。私達はまず正面の建物の地下にあるボランティアオフィスでノートにサインをし、荷物をロッカーに入れておいてから帰りの時間をうわあわせ、それぞれが受けもつている奉仕活動をするため広い構内に別れていく。

「レニア・スクール」というのは精神薄弱児（者）の治療教育を目的とした施設で、一九三九年に開設された頃はまだ小規模な施設にすぎなかつたが、現在では収容人員一七〇〇人という、ワシントン州では最大の施設となつた。この施設では原則として、地域社会の他のどの施設でも受け入れてくれない、I・Q 35以上の精神薄弱児（者）を収容しており、収容人員の $\frac{3}{4}$ は十才から三〇才まで七〇歳以上のどこにも引きとり手のない老人もかなり多い。約半数がかなり重度の精神薄弱者で、一五%が歩行困難か、全く歩けない。広い構内には精神薄弱児（者）の寮、病院、学校、教会、リハビリテーションセンター、職員の寮や家屋など四三もの建物が点在しており、この大きな施設だけで一つの社会を構成している。

原則としてできる限りの治療、教育、訓練を行なつて早期に家庭や地域社会に帰すよう努力はしているが、もともと家庭や地域社会では養護の難しい重度の障害者を収容しているだけに、一旦収容してしまえば社会復帰が五六十がそびえ、この施設はこのレニア山の麓に位置しているところから「レニア・スクール」と名付けられたのである。

シアトル滞在中、私はシアトル赤十字社の専用車で毎

ができるだけ精神面でも肉体面でも生活しやすいような環境を整える必要がある。アメリカといえども障害者に対する偏見や差別は厳として存在するし、彼らに対する社会の壁もまた厚い。自立した生活がほとんど不可能に近い重度の障害者が何とか生きていくためには、閉鎖社会とか、隔離された社会とか、いろいろの批判はされても、現在の社会状況を考えれば、今生きていかねばならない重度の障害者にとっては、このような日本でいうコロニー式の養護方法もある程度必要なのではないかと思われる。もちろん、このレニア・スクールにおいても障害者だけの特殊社会が望ましいとは考えられていないので、パブリシティやボランティア活動を通じて一般社会との連携や啓蒙には最大の努力が払われているのはいうまでもない。

ところで、このレニア・スクールで私はひとつのおもしろいプログラムを知った。

それは低所得家庭の高校生や大学生にこの施設でアルバイトとして精神薄弱児（者）の教育やレクレーション活動に職員のアシスタントとして参加してもらい、一時間につき一・四ドル（約五百円）を支払って、それを学費のたしにしてもらおうというプログラムである。

学業に支障があつてはいけないので、最大限一週間に一五時間まで、夏休みは週に三二時間までという条件つきだが、このプログラムに参加している学生はかなり多いと聞く。

さらにこのプログラムを低所得層の老人にまで適用したのが「フォスター・グランドペアレンツプログラム」とよばれる計画で、これについては以前ご紹介した。

貧困家庭の学生や老人に経済援助を与えるのに、單に事務的に金銭を支給するのではなく、このように障害者に対する労働の対価として支給する方法はこの他にもアメリカには多い。こういう活動は、単に施設の人手不足を補うという狭い意味だけでなく、長い目でみれば施設と社会とを結ぶ大切なパイプを築くことにもなり、地道な



レニア・スクール重度棟の重症心身障害児たち。ほとんど1日をねたきりのまま過す。

啓蒙運動にもつながっていく。

ところで、アメリカでは巨額の費用のかかる大型の施設は州立で、小さな施設は民間で運営されているが、この州立のレニア・スクールの年間経費は約四八〇万ドル（一七億三千万円）で一日一人当たり八ドルをかけているしかし、最近はしだいにこうした大型の施設に対する反省がみられるようになり、施設はしだいに小型化の方に向をたどりつつある。

大きな施設を小さな単位に分解し、もう一度障害者を地域社会に帰し、その中で社会の一員として生活させていこうという考え方と、それに基づくグループホーム形態がアメリカで広まっている。

大舎制から小舎制へと移行しつつある、こうした新しい養護形態を次回にご紹介しよう。

真紅の太陽のもと
涼しい憂いのやさしさ……



マキシンの帽子のおもとめは
全国有名百貨店でどうぞ

婦人帽子

マキシン

神戸・トアロード 東京・銀座 3-2
TEL(078)331-6711-3 TEL (03) 535-5041

8 / 4 芦屋川アーバンライフに COFFEE & MUSIC LARQ

COFFEE & MUSIC LARQ

〒659 芦屋市美津町14 芦屋川アーバンライフ B1
OFFICE (077)31-7965

LarQ

●特集／ルポルタージュ

淡路島スケッチ

「花とミルクとオレンジの島」、夏の淡路を訪ねて海を渡った。いろんなところを歩きまわり、いろんなものを見た私たちの足あとがここにあります。



★淡路みどころ

・季節の花美しい東山寺

一宮町尾崎から淡路ゴルフ場を経て山道に入る。摩耶連山の一角にたたずむ東山寺は、弘法大師が開基した尼寺で、山門から本堂を結ぶ石階の両側には、シャクヤクカエデ、フジなどの樹木が並び、雨に濡れたあじさいの花が美しく咲き揃っている。この東山寺薬師堂には、国宝指定の木造薬師如来像と木造十二神将立像は、子と亥の十二支の像が各々異った刃、剣の武具を持ち十二神十二色の顔をして、お薬師さんを守つており、その姿は興味深いもの。



東山寺住職佐伯さん・境内にて

「私の心配なのは後継者のことだけです。」
こここの住職である佐伯秀明さんは、もう七十余年もこの寺で過して来られ、寺の管理から行事すべてを一人でなさっている。

もう何もかも悟つていらっしゃる様な落ち着いた態度を深い目差しの中で、淋しそうに語られたこの言葉は忘れ難い。



伊弉諾神宮の巨木・夫婦大楠

年中行事・粥占祭や祖靈社大祭、御例祭、秋・夏祭にはこの広い境内も人々で埋められ、特に粥占祭は、農家の人々にとつては最も大切な祭なのだそうである。春・秋には結婚式が非常に多いとか、巫子さんのお話を聞いて、本殿を振り返ると二メートル程のアオダイショウが、本殿から拝殿に向つて堂々と体をくねらせている。そのヘビの姿は、いかにも古い神話に支えられた神宮の主のようでもあった。

● 境内は子供の遊び場の鳥飼八幡宮

鳥飼浦からバスで三、四分のところにあり、京都石清水八幡宮の別宮である。ここには県指定文化財の御輿があり収蔵庫に収められているが、前もって連絡がなければ見られないそうである。本殿は慶長八年の再興で、管理職の米田さんの説明によると、向拝の一部、扉、縁回り屋根に後補の跡はみられるものの、その他、蓋板、手挟み、笈形などの形はよく時代の様式を示しているとのこと。雨雲の間から射し込んだ光でくつきりと、浮び出た本堂に、うっすらではあるが彩色の朱の色がしみのように残っているのが見える。

● 只今工事中の日光寺

慶野松原から徒歩で二十分钟位のところにあるこの寺は県文化財・五輪塔・宝筐印塔四茎や重要文化財の舌のある銅鐸で有名。山門の両側には大きな仁王像が立ち、山門と本堂の真中辺りに小さな石像の置かれた石段の塔がある。この慶野松原辺りからは、しばしば刀や銅鐸、貨幣が堀り出され、まだ尚、土葬の風習が残っているのだそうである。ちょうど工事中でご多忙だった住職さんは、後で色々の資料

● 巨木の中で神話とともに生きる伊弉諾神宮

そもそも、淡路島は古事記・日本書紀によると、イザナギの命とイザナミの命の国生みの際にできた大八州国最初に出来た島であり、この伊弉諾神宮は「伊弉諾尊・神ごと既に早へ給ひて神あがましなんとす。是をもて幽宮を淡路の州につくりしづかに長く隠りましき」「故其の伊弉岐大神は淡路の多賀になも坐なり」とあるように、イザナギの命の幽宮であるらしい。そのイザナギ、イザナミの二神をお祭りしてあるこの神宮は、縁結びの神様として、長寿の神様として親しまれている。正面の鳥居をくぐり、両側松並木の砂利の参道を進んでいくと右手の方に、幾歳もかわらぬ神のふた柱、まもらせたまあらんかぎりは」と書かれた徳川11代家斉の子齐裕の歌碑がある。その向側には放生池と名付けられた、生きたカメやコイを放して長寿を願う池がある。池のまん中の尾の長い亀の石像や朱、黒の鯉の泳ぐさまは、なんとなく不気味な感じ。楠や松の巨木で囲まれた広い境内はきれいに掃除され、その静けさには伝説に育まれた神聖な場所というムードが漂う。本殿右側には、二神が始めて御夫妻の契りを結ばれ多くの御子神をお産みになり、日本国家をつくりなしたというゆかりに依り、夫婦大楠と呼ばれる見上げる程大きな楠が祭られ、カメラに収めるには壁を超す程のツワモノ。



時代の様式残る鳥飼八幡宮本殿



国文寺・釈迦如来

●塔跡もくつきり残す国分寺
三原町・市から少し北に入った、タマネギ畑と水田の中にあるのがこの国分寺。境内らしい境内もない国分寺跡には、近代的建物の宝物館と「史跡淡路国分寺塔跡」と書かれた碑があるだけで、昔の本堂あたりは今、ここの大管理人の人が住んでいる。宝物館の扉をさつと開くと大きな仏さん。これが県指定の木造釈迦如来である。ここでの釈迦如来は

大きく、全国で一つしかない丈六のお釈迦さんで鎌倉時代のものだそうである。また、大釈迦の前に置かれ

●塔跡もくつきり残す国分寺
三原町・市から少し北に入った、タマネギ畑と水田の中にあるのがこの国分寺。境内らしい境内もない国分寺跡には、近代的建物の宝物館と「史跡淡路国分寺塔跡」と書かれた碑があるだけで、昔の本堂あたりは今、ここの大管理人の人が住んでいる。宝物館の扉をさつと開くと大きな仏さん。これが県指定の木造釈迦如来である。ここでの釈迦如来は

●塔跡もくつきり残す国分寺

を送つて下さった親切な方。



日光寺・中央の塔

た飛天像は対照的で、ちょうど手に乗せれる程の小さなものの。藤原時代の作であるらしいが、欄間がどこかに刻まれていて焼け残ったため、両手が欠けていて何を持つていたのかは分らないが、優しい顔をした感じのいい像である。塔跡碑の右側にある大日堂の中には塔の基礎の円形の跡がある。この堂を中心にも東・北・西に礎石が並んでいて、この基礎から考えるところの塔はおそらく七重塔であったと推測されるらしい。

●キジも行きかう先山・千光寺

洲本から福良へ向う道路を右に折れて先山へと向った。淡路の地図とにらめっこしながら車で走るがどうもよく道に迷う。地図の上ではかない大きな道路になつている所が實際は山道だつたりしたせいだ。先山への道はかなりの難路で、昨夜降った雨で道路はドロドロ。何度も舌を咬みそうになつたり、内臓の位置が入れ替わりそ

うなガタガタ道を車でのぼりつめると眼下に広々とした三原平野が木立の間に額縁の中の絵画のように飛びこんできた。淡路にこんな広い平野があつたのかと思わず驚

●私の好きなあわじ

淡路の春まつり



國中富樹子
(神戸ドレスメー
カード女子学院教師)

私が生れたのは三原の国衛なんですが、子供の頃から私達の近辺の村では農閑期になると、だれかが淨瑠璃のお師匠さんを招いて、お稽古を始めると皆、そこへ集つて一緒に憶えるのです。あの子はよう唄う子や。と年寄りにほめられるとき淨瑠璃が上手いということで、いつこうに手があがらんといふと下手だということなのです。

子供の頃からこんな風に口伝へて感で憶えるのですから「サワリ」を誰でもが知つていて、春祭りともなれば「サワリ」を若ものが披露しあう大会があり、例えば、三月何日は自分の村、四月何日は隣り村といつたぐあいにアチコチの部落で淨瑠璃大会があるのです。

特に、三原郡の市村・三条村などは人形淨るりの発生地といわれるだけあって、芝居だんじりや、投だんじりなど、手のこんだんじりも一緒にみられるので、淡路へ行くのなら春祭りに、島の人々の素朴な感情にひたればとトテモ素敵だと思うのです。

く。「淡路富士」とよばれるこの

先山は、淡

路全島の信仰の中心とされ、山上には立派な千光寺があ

る。近くにある。この山門の平和の

鐘と古寺が落ち込んでいる調和を見

せ美しい。

● 塔のそびえる 引撰寺

洲本——岩屋を結ぶ国道沿いの志筑から西へ一

キロのところにあり、石造十三重塔がある。都



先山・千光寺山門より本堂を望む

ようではない。彼らもひょつとすると千光寺詣の帰りのかもしぬなかつた。

● 人気の少ない静寂の中の常隆寺

北淡山岳で二番目に高い常隆山の原生林に囲まれたこの寺の山門には、「平和」の文字を刻んだ平和の鐘があり、四国・中国・大阪・和歌山が展望できる伊勢の森も

近くにある。この山門の平和の鐘と古寺が落ち込んでいる調和を見

せ美しい。



平和の鐘のある常隆寺山門

ながら一段一段登っていくと周囲の見晴しがさらにひらける。

雨降りでなければ素晴らしいのに、と思いつつ石段を登りつめると、境内の入口に大きな仁王門がどつかと立ちはだかり、巨大なわらじが天井に供えてある。

正面の本堂は真言宗らしく重厚な感じで、東堂、護摩堂、三重塔も皆立派なものだ。

この寺は真言宗高野山金剛峯寺の中本山で末寺が十力所ほどある。とにかく淡路は真言宗一色といつていいほど真言宗が根をおろしており、淡路全体で真言宗の寺院が二二七カ所もあるといった。

帰りに先山の向い側の山に登つてみた。そこからの眺望は実に素晴らしいの一言につきる。なだらかに連なる山々のかなたに洲本市が望め、その向うに紀淡海峡がキラキラと輝いてみえる。

下山する途中、私達は山道に七羽のキジを見つけた。親子連れなのか、車に出会つてものんびりと構えて逃げ

● 人形淨瑠璃

三原町——市から徒歩三十分程の所に三条という村がある。その村に淡路人形淨瑠璃発祥の碑があることを聞いた

て三条村に赴いたのであるが、タマネギ畑、水田が続くばかりでそれらしいものは見つからない。村の人には幾度も問うて、やつと着いた八幡宮の鳥居の横に「淡路人形淨瑠璃発祥地」と書かれた石碑がほんとあるだけ。昔

は、この辺りで座が持たれ、座の数も多く盛んであったらしいが、だんだん減少して来た現在は、この三条で上演されることはない。ある期間中だけ島めぐりの船が着く時刻に合わせて上演していることを聞き、福良にかけつける。船つき場のすぐ傍に設けられた芝居小屋の両側には人形や、人



形小道具がずらりと並べられている。島めぐりの船が着くと同時に公演されることとなつていて、大人二〇〇円、小人一〇〇円で三〇分間みられる。(開館期間3月1日

し11月30日) 今

日の催しは、娘

巡礼の“傾城阿

波鳴門”その人

形の巧みな動き

は、太夫の語り

とびったり合い

人情にもろい老

人のなには感

激して涙をぬぐ

う人もある。こ

れこそ訓練のた

まもの。この

他、寛政十一年

に初演され今な

お続いていると

いう「絵本太功

記」と、牛若丸と弁慶の「鬼一法眼三略巻」があり、こ

の三つが交替で上演されるのだそうである。

そもそも、淡路人形淨瑠璃の起源説としてはいろいろ

の伝説があり明白ではないが、摂津西宮の百太夫とい

うデコ廻し(人形つかい)が島に渡来し、三条村で永住す

るうちに人形芝居の根拠地となつたのであろうといわれ

西宮ではもう見ら

れないものが、淡

路に残っていると

は皮肉なものであ

る。これら人形は

藩政時代後期にも

つとも隆盛をきわ

め、当時は、四十



山口屋



人形淨瑠璃・發祥碑



淡路・人形淨瑠璃 舞台はおつるとお司

四座もあつたというかららしいしたもの。現在の大坂文楽の源は淡路出身の道具屋大蔵が聞いたものであるが、文楽に比べると淡路人形は宗教的色彩が強く、野趣豊かで素朴なのだそうだ。

一応無形文化財には指定されているものの、後継者のことや人形保存に関係者も頭を悩ませているようである。

●私の好きな

私が今春“淡路島”という小冊子を創刊したとき、取材やスポン

サー廻りのなかで一番印象を深くしたのが阿那賀の旧家の料理旅館

古風な山口屋で

魚料理を

初代山口屋吉兵衛は、宝暦十三年(一七六三年)阿波蜂須賀公よ

り阿那賀山林の総取締に任せられ

三代目甚四郎の代になつて町人な

がら苗字帯刀を許されて甚四郎と名乗り、山広く廻船業で、瀬戸内海で商いを行つた豪商だ。



松田 達夫
〈風群文学会主宰〉

その二百八十年を経た古風な建物は、女主人の手で支えられて、漆黒の度を柱梁に加え、歴代の人々の息を秘めて、冷めたく澄んだ気配は森厳なおもむきをそなえている。現在の料理旅館になつたのは七年前。気心のしれた特定の人しか泊めない気ままなどころがこの旅館の魅力。鳴門鰯、ウニ、イカ、サザエ、アワビと海の幸に野菜の煮フクメは京の味がする。

女主人の一人息子十二代目崇さんは今をときめく新劇俳優でもある。(四国亀浦からフェリーで那賀へ二〇分。三原郡西淡町阿那賀 TEL (○七九九三九) 七番

★SHOP & EATING

淡路島で一番の街は洲本市。おやじさんの時代から引きついで、街の大学を出て帰って来て店をつくる若い経営者たち、すごく張り切って、淡路を考えてる。

洲本市で淡路一番コーヒーがうまい店『マルウメ』船越武さんというご主人がサイフォン煮きのおいしいコーヒーを飲ませてくれた。10年程前までは神戸のアルモンドのケーキを船で運んでたけど今ではあまりケーキもめずらしくなくって余り人気はないよう。新開地という路地にある店、他には海岸通りの弧輪屋という喫茶店もコーヒーやお茶がおいしい。海岸通りには『人形喫茶六万石』といふ人形百体あまり集めて飾つてある店があつて、御主人の阿部さんが人形好きだとかで日本でもめずらしい喫茶店。

淡路、新鮮な魚は天下一品でその魚を天プラにして食べさせるのが『常磐』やはり洲本駅の近く、今は2代目さんの佐藤さん一家が兄弟で奥さんとお母さん5人で経営している。ホーリードラマに出て来そうな家族。下着専門の店『ロロ』はチュニックの商品が多く

▲常盤の店の人
▲ロロの店の人
▲コーヒーのマルウメ

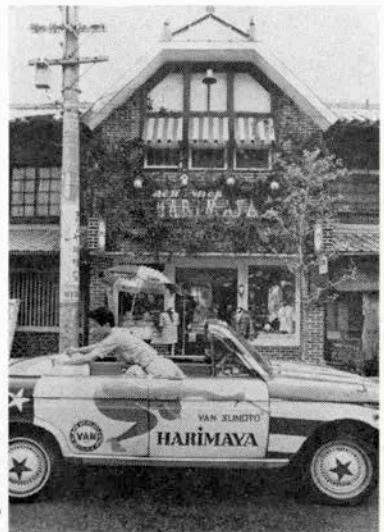


かかった。とてもしやれた店で明るくて気分がいい。お隣には男子専科VANの品をあつかつた『はりまや』がある。『プロス』にはKOBEのニットメーカー「ワールド」の商品が沢山入っていて淡路の人々に親しまれている洲本町近くにある。福良へ行くと、普通の家をそのまま好み焼き屋さんとした『ぐおん』がある。庭と池のあるこの家は風通しのいい純日本風の家で、洲本からタクシーででかけるのだそう。阿那賀の海岸の見える丘の上に『梅丸別館』がある。注文もしないのにバクバク口を開けて尾っぽをビンビンさせている鯛の活造りがでてきて、鯛頭のおすましに大きなエビとやさいの天プラ、おまけに宝来焼きといふ焼き石で鯛を焼いてあるもの。これが一人前2000円ときいてあまりの安さに口を開けたまま『へえー』。

8月はキス、あなご、さより、たこがおいしくて、淡路は、魚の好きな人にはまさに天国といってもいいよう



▲ロロ



★キャンプならここ

・瀬戸内海の島々を美しいと感じながら福良から吹上浜までドライブ、山の道なき道をうねうねと通つて着くと徳島から来た高校生が青年の家へ砂浜づたいに歩いていた。松林をぬけ、堤防に座つて海を眺めると潮風が髪をさらっていく。

・阿那賀を通つて慶野松原から五色浜・尾崎・室津と淡路の西淡は夏はキャンプ場、バンガローと阪神間から訪れる若者でふくれあがる。自然を残した、旅情豊かな夏の日々を過せる。

・江井崎は近くの漁村の人々がいかなごや、わかめを干していく、テトラボットと漁船のカラフルな船体の美しさを持つ浜、つりも多いに楽しもう。

・淡路の南淡由良港は、小さな港、貝の採取をした船が夕方には帰つてくる。南の天の橋立と言われる洲が港ぞいに細長く横たわり、成ヶ島がある。ここにキャンプ場もひなびた田舎の味を満喫できる。



▲ 吹上浜遠くに見えるのが淡路青年の家



井戸 均

（淡路フェリー営業課主任）

● 淡路海浜コース

仕事がやはり夏の海水浴場をお教えしましょう。兵庫県が指定をしたサンビーチは、北淡町の小倉海岸と、東浦町の浦海岸で、家族づれで楽しめるところ。フェリーに発着場からも十分ぐらいいのところですから、朝ゆっくりでも、充分美しい浜で、海水浴ができます。

また、洲本の大浜海岸や、五色浜の慶野松原、江井の海岸などはバスで一時間と一時間半はかかるので、一泊でゆっくりできます。フェリーは、須磨からなら終夜運行して四〇分毎にはでていますし、土・日は、夜遅く到着しても、土・日は、夜遅く到着しても、キャンプや、民宿でという人々も多勢。夏場はフェリーも一、三週間前に予約いっぱいになりますので、四ヵ月前から受付けていますから早めにご予約下さい。

ほかには洲本と一宮にゴルフ場もあるので、ゴルフも共におすすめします。また夏の常隆寺へ、山登りというのも、ハイキングファニには評判のコースです。

民宿ガイド〈南淡町〉

かるも荘	07995-2-1377
大岩荘	07995 呼出 2-0937
とみ栄荘	07995-2-0389
フィッシング荘	07995-2-0200
安部旅館	07995-2-1397
浜吹次玉	07995-2-0041 ※ 079955-225 ※ 079955-166 ※ 079955-6065 ※ 079955-751
おれんじ荘	

▶ 小魚を干してある浜



★国民休暇村

福良湾を眼下に見下す、とっても景色のよい所にあるのが「南淡路国民休暇村」。安くて健康的で自然に親しめるとあって、家族連れや女性のグループ客に大評判。清新い宿舎はとっても気持ちがいいし、淡路でとれる新鮮な魚の料理がとつてもおいしい。それに、しづかに立ての新鮮な牛乳を使った「牛乳風呂」(入浴料50円、但し六七月は休み)はここならではのお楽しみ。宿舎のすぐ下には展望リフト、プール、ボート、釣船、遊歩道もあり、海のレジャーを思いっきり楽しめる。

「レジャー時代にそなえていろんな娯楽施設を増やす予定です。三と四泊で思いきり余暇を楽しみたい人はぜひどうぞ」と支配人の細見さん。京阪神からのお客が80%でその8割が兵庫県の人だそう。年間18万人の利用者があるのを見ても、その人気のほんどうがうかがえるといふもの。



あしは福良から淡路交通バス
10分、または休暇村行船10分。
宿泊費七百円から。
申込みは直接休暇村へ。
TEL 0799-510291 (代表)

旅館・宿泊所ガイド

やぶ万	福良 (07995)2-0017	浜千鳥	福良 (07995)2-0041
海上ホテル	福良 (07995)2-1175	蔭山	阿万 (07995) 32
ちどり利	福良 (07995)2-0152	開月	北阿万 (07995) 34
三福	福良 (07995)2-0423	紅葉	北阿万 (07995) 120
大黒	福良 (07995)2-0120	あびす星	灘 (07995) 8
風雅	福良 (07995)2-0158	木村屋	沼島 (07995) 10
潮見	福良 (07995)2-0341	とらや	沼島 (07995) 34
よし園	福良 (07995)2-0048	南淡路国民休暇村 うすじお荘	福良 (07995)2-0291
長尾	福良 (07995)2-0161	公営淡路 ユースホステル	福良 (07995)2-0460
樋富士	福良 (07995)2-0039	民宿とみ栄	福良 (07995)2-0389
福良旅館	福良 (07995)2-0217	民宿かるも	福良 (07995)2-1274
ちどり丸旅館	福良 (07995)2-0055	民宿恵比須荘	阿万 (07995) 259
鳴門荘	福良 (07995)2-0135	民宿おれんじ荘	灘 (07995) 751



★ドライブ

淡路

★フェリーで到着した車は整理員が手際よく誘導、いざ淡路島へと走り出してゆく。東海岸の国道二

十八号線、事故の多くが無理な追越しに原因があるという。カーブが多いのと、お互い相当スピードが出てるので自分の車のパワーに自信がない人は気をつけた方がいい。

左手に美しい海岸、右手には頂上附近が霧にかすんだ淡路連山を見ながら快適なドライブだが、途中へと入っていくのが淡路島のドライブのおもしろさ。

州本に入る直前、川沿に右折すると、間もなく「先山千光寺」の名標が目に飛び込んでくる。州本の町から数キロしか離れていないが、走るほどに「これぞ先山へ通ずる道ぞ」と叫びたくなるような田舎道。ローギアに切り込んでエンジンはタコメーターの針を振り切らんばかりに回転し、うなり声が山にこだまする。スノータイヤをはいた車輪が泥をけちらしながら頂上までくるとチョットした広場に行き止まる。エンジンを止めたとたんまわりは静寂につづま



諭鶴羽山への道。体力がいります

れ、石段を登る足音だけがひびく。晴れた日には淡路島全体だけではなく遠くは紀伊半島までが眺望できるという。とにかく仙人でなつたような気分になってしまふのは、あたりのあまりの静けさのせいであろうか。

静かなドライブに物足りなさを感じるドライバーには、ここで気分一新して先山の中腹から延びる電波観測所までの山道がヒルクライムの気分を味わうのに最適。急坂道とヘヤービンカーブ、道幅も広くなり、よほど大きくスピードしない限りまずは安全。だがここはあくまでも公道であり、時たま対向車が来ることがあるのでカーブ地点に見張りを立てた方がよ

が、ドライブアドベンチュアーリードするが最高であろう。洲本駅を走る。ここは二・三月には水仙の名所として知られる所である。途中「黒岩」というバス停からせまりくる山に向かって真すぐに登りはじめめる。途中幾度も道が分かれているが、村のオバサンに聞いてみると、土地言葉丸出しで教えてくれるのが楽しい。ここ数日車が通ったことがないようなガラガラの岩道をボディの床をガリガリこすりながら登つてゆく。途中不安にかられても絶対ひるんではならない（引きかえそうにもターンする場所がまったくないからである）チヨツとしたハンドル操作のミスも許されない。一つまちがえばそのまま黒潮の中まで落ち込んでしまいそうな崖、目がランランと輝いてくる。

頂上諭鶴羽神社に約一時間半を要してやつとこ到着。そのあと三原に通ずる比較的簡単な山道を尾根づたいに下る。途中目の前に突然きれいなダムに行きあたり、ここで再び小休止して目を休める。もう眼下には三原の町が見えてくる。全行程約三時間のスリルと振動？に満ちたヒルクライムコースであった。

さらにここからはかなり離れる

★モダン淡路

— 58 —

その時淡路は本州と四国とを結ぶ單なる通過地点となつてしまふか、あるいは両者を結ぶ重要な交通の要衝となるかで淡路の姿は必ずい分離つてくるだろう。

・開発 淡路島北淡

の東浦、西浦海岸においては今大規模な開発が進められている。フェリーから眺めると緑の山にボックリと茶色の穴があり、その中をダンプカーが蟻のように走り回り、次々と土砂がベルトコンベアーで海に運ばれてい



埋立がすすむ志筑港

筑港の埋立や志

は大阪港の埋立や志筑港の埋立に使用さ

れるが、このままで

は淡路の自然が破壊されてしまうので、兵庫県はこの七月土砂採取を大幅に規制する「土取り事業規制要綱」を定めた。淡路北端部、常隆寺山、先山、論鶴羽山など全島の三〇%にあたる百八十平方キロは一切の土取りが禁止され、淡路の自然がそのまま守られるようになったのは嬉しい。

東浦海岸の志筑港を訪ねてみると、港外では着々と埋立が進み、着岸したフェリーからは次々と乗用車やトラックが吐き出されていく。志筑を中心とした東浦海岸は阪神からのフェリー基地として今大きく変りつつある。

・架橋 明石・鳴門架橋の工事はいよいよ来年から開始されることになつたが、岩屋近辺ではもうその準備がすでに始つっていた。架橋が完成するのはまだ十年も先のことだが、橋がかかれれば淡路は阪神経済圏と直結することになる。



山が削られた跡には団地が建設されつつある

茶店があちらこちらにあらわれ、ニューモードの女性が急速にその姿を変えつつある。

・意識の変化 環境が変れば人の意識や感覚もまた変つてくる。びっくりするほどハイセンスなブティックや喫

茶店があちらこちらにあらわれ、ニューモードの女性が急速にその姿を変えつつある。

島国根性だの閉鎖性だのといわれながら、若い世代の感覚

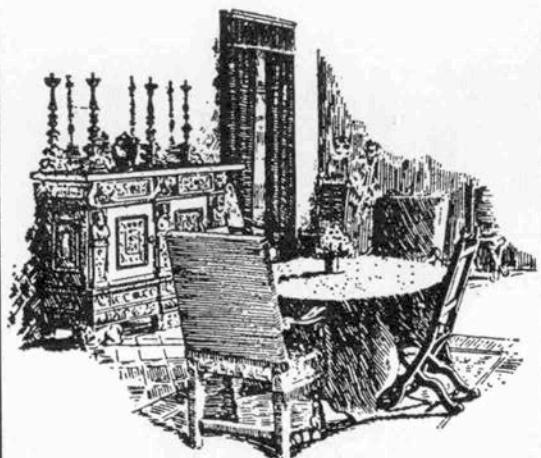
は海を通り越してすでに大都市の若者や世界の若者たちを結びついている。これから

からモダン淡路をつくっていくのはこうした若者たちであり、彼らの英知とエネルギーに淡路の未来がかかっているといえるだろう。

吳作機
みよくわ

姫路店 大阪店 電話
電話 姫路 大阪 神戸
やまとや (345) しき
百九 貨物店
三五二
丸四八
八八八
番番番
代代代
前前前

欧風家具・婚礼調度



設計・創作

永田良介商店

神戸市生田区三宮町3丁目 大丸前 TEL 神戸(391)3737
(代表)
東京店・東急百貨店 (日本橋店内6階 TEL 03(221)0511
本店(渋谷)7階 TEL 03(462)3180
工場 神戸市垂水区多聞町小東山975-35
神戸木工センター TEL (078) 706-5005 (代)

美しく 楽しく ダイナミックに

踊る!!



Shoko Imaoka Modern Dance Institute

今岡頌子舞踊団

バレエ教室



児童・本科・一般・研究科



月・水・金・土曜日



住友銀行三宮ビル 6F

センター街東入口

Tel 391-1518

佐本歯科

小児歯科・一般歯科

診察時間（予約制）

AM 9:00—PM 1:00 (受付 12:00まで)

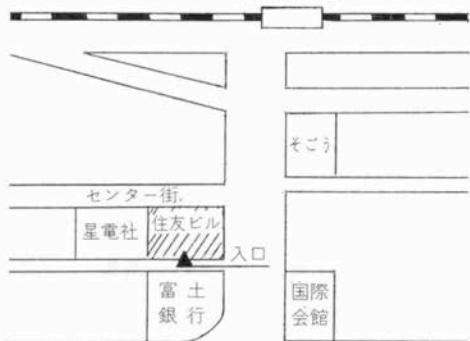
PM 2:00—PM 6:00 (受付 5:00まで)

(土曜・木曜は午前中)

そごう前センター街東角・さんちか入口
住友銀行三宮ビル 6階

TEL(078)331-6302~3

国鉄三宮駅



〒650 生田区加納町 5丁目39

★NOW 神戸発行！

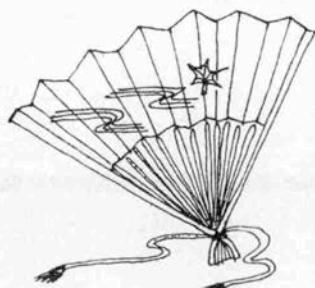


私達の町、神戸を紹介した本が8月1日から発売されています。岡ゆきさん編集の京都とワンセットのツインブックで、京都に劣らぬ神戸のよさや、神戸の風情が余すところなく描かれています。

異人館の多い神戸、山海に囲まれた神戸、おしゃべりな街神戸、ショッピングの街神戸。ロマンチックで、新しいようで古い、その反対もいえる神戸の町を、美しい風景や楽しい写真とロマンチックで人なつっこい文章とともに散策してみて下さい。

「ワニ」のマークのツイン・ブックス NOW神戸
発行・株式会社ベストセラーズ
編集・「神戸っ子」編集室
定価・850円
各書店でお求め下さい

★神戸っ子劇場をはじめました



このたび、月刊神戸っ子では2ヶ月に一度日本のオリジナル（能・狂言・歌舞伎・文楽・邦舞・邦楽）などを中心にした芸能を企画主催して、より日本の伝統文化に親しんでいただくお願ひいたします。よろしくお願ひいたします。「みやび」の会会員になって下さい。

この神戸っ子劇場を継続するためには「みやび」の会をつくりました。会費は

入会金 1,000円

毎月額 1,000円

です。

グループでお申込み下さい。

みやびの会は神戸っ子劇場の母胎となる会で伝統文化を愛する人たちの集いです。神戸っ子劇場だけでなく会員同志の優雅な交歓のつどいにもなります。

係／神戸っ子・成広高史
tel 221-7037

★Kobekko Samba School



神戸まつりは年々盛大に賑やかになってきました。

月刊神戸っ子では、神戸まつりはサンバでいこうという旗印をかけて毎年パレードのフィナーレを飾っています。

サンバのリズムをより楽しくマスターしていただくために、そして素晴らしいサンバチームを作るためスクールを開きます。

勤めている方、重役さん、商店のご主人、そしてBG、学生、男女、年齢を問いません。サンバのリズムの学校に入学下さい。

校長先生は日本の打楽器の名手、古谷哲也のおじさんです。

入会金 1,000円

会費 1,000円

一学期は3ヶ月間 あとは研究科です。研究科3ヶ月でサンバチームのメンバーになれます。
係／神戸っ子・藤原保之
tel 221-7037